

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 21年1月4日

## 【評価実施概要】

事業所番号	272400490		
法人名	社会福祉法人奥津軽会		
事業所名	グループホーム八幡荘		
所在地 (電話番号)	〒037-0309 青森県北津軽郡中泊町八幡字八幡32番地3 (電話) 0173-69-2580		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 11月 20日	評価確定日	平成 21年 1月 4日

【情報提供票より】(平成20年7月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14年 6月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8人, 非常勤 人, 常勤換算 6人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	0 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 810 円		

### (4) 利用者の概要(7月1日現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	3 名	要介護2	3 名
要介護3	1 名	要介護4	0 名
要介護5	0 名	要支援2	2 名
年齢 平均	83.3 歳	最低	70 歳
		最高	91 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	公立金木病院、井沼洋クリニック、今歯科医院
---------	-----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

保育園だったこともあり町の中に立地され、デイサービスを併設した地域のお年寄りの拠点として地域に馴染まれている。事業所には運営理念のほか、独自に職員が話し合っって作り上げた理念を掲げており、利用者の生活歴や習慣、日々の暮らしをよく理解した上で一人ひとりに合った生活を送っていただけるよう支援されている。利用者のできることを大切に、落ち着いたさりげない言葉がけや過不足のない適度な距離を保たれた援助は、利用者にとって穏やかに生活できる環境になっている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員会議にて話し合い概ね改善がなされているが、同業者との交流については、同業者とのネットワークを通してサービス提供への疑問や気づきなど職員の意欲向上のためにも再検討してみたいか。又、災害対策も同様、地域住民との協力体制の整備も含め改善が望まれる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員は評価事業に対し十分に理解しており、自己評価は職員全員が作成する事で多くの気づきがあり、質の高いサービスに向けて積極的に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>定期的実施されており、広報紙の配布や外部評価結果を公表し、施設の取り組みに対して意見を頂きながらサービスの向上に取り組んでいる。運営推進会議では地域からの参加が民生委員1名のみであり、他に町会長、婦人会、防災協力隊など地域の方の参加を頂くことにより地域に密着した意見・情報が得られることを期待したい。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>利用料は毎月家族がホームへ持参することになっており、利用者の行事参加の写真や日々の暮らしぶりの報告をしている。ケアプランへの意向や意見も求めているが意見の表出は少ないとの事、今以上の意見の吸い上げに期待したい。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>現在月1回ホーム周辺の清掃奉仕活動や地域の行事への参加や慰問の受け入れ、地域を巻き込んだ行事の開催など日常的な付き合いを行っており、地域の一員として理解が得られている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員は地域密着型サービスを理解しており、事業所の運営理念のほか、地域の中でその人らしく暮らす事のできるよう、全職員で話し合い独自の理念を作り掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員が話し合って作り上げた理念であり、理解しやすく職員間で共有しており、日々の援助で実践している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	月1回ホーム周辺の清掃活動や地域の行事への参加や地域を巻き込んだ行事の開催など、日常的な付き合いを行っており、地域より回覧板がまわってくる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>全職員で自己評価をし管理者が集計している。全職員で行うことで職員間の気づきがみられ、具体的な改善に取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議は2ヶ月に1回行われ、会議にて出た意見をサービスの向上につなげている。地域からは民生委員1名のみ参加となっている。</p>		<p>今後、町会長や婦人会、防災協力隊など地域の方の参加を促す取り組みを期待したい。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議への参加のほか、普段困った事があれば包括支援センターや役場に相談できる関係である。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>外部研修に参加し、伝達研修や勉強会を設けており、権利擁護に対する理解に努めている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員は虐待防止を理解し、日々のケアでも意識し、防止に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時、契約書、重要事項説明書を十分説明し、納得と同意を得て契約をしている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>利用料は現金払いの為、最低月1回は面会があり、その際出納帳等の確認や心身状況を報告している。また変化がみられたときは随時報告を行っている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議への家族の参加があり、意見箱が設置され、また家族面会時等の意見要望を聴取する体制が整っている。現在は不満、苦情は寄せられてはいない。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>年1回担当者は変わるが、担当が変わる際は、利用者・家族に報告している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員が最低、年1回は外部研修に参加できるように計画を立てている。また計画を立てることにより段階に応じた研修に参加できている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	西北五地区の協会に入っている。職員は外部研修に参加した際に交流してはいるものの、他事業所の職員や同業者との情報交換や交流の機会は少ない。		他事業所の同業者とのネットワークづくりを積極的に進め、業務の改善点に気づいたり、情報交換をしたりする機会を増やしていく取り組みに期待したい。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	御家族からの情報や、利用者本人の行動を観察する事により少しずつ馴染んでいただけるようにしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の意見を反映させながら食事の準備、後片付け、農作業など、利用者と職員が互いに協働している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>普段のコミュニケーションを大事にする事により本人の思いをや訴えを把握している。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日々の会話や行動、家族からの情報、一部センター方式を活用し、利用者のニーズを踏まえてその人らしい介護計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月毎に見直しを行う他に、状態変化がみられた場合は臨機応変に対応がなされている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の要望に応じ、買い物や外出、また通院等の支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望で入居前の病院に通院している。その他に3カ所との病院と連携している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	かかりつけ医の他、緊急時の搬送医療機関も家族と話し合い確認している。重度化しても継続してサ・ビスが受けられるように職員はその方針を共有している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの特性を職員全員で把握し、声かけや誘導時にはプライバシーに配慮して支援している。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の希望で買い物や入浴など出来る限り希望に添って介助し、支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>季節によって献立が工夫され、利用者と職員と一緒に食事の準備や後片付け、食事を通し、会話を楽しんでいる。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週に3回の入浴が行われている。また、本人の希望に添った入浴ができています。入浴できない時は足浴を行っている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>玄関前や洗面所の掃除など、一人ひとりができることを行ってもらう事により、張り合いのある生活を送れるよう支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの希望に沿って併設しているデイサービスへ出かけたり、買い物や散歩をしたりしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員全員が身体拘束や抑制をしないことを理解し、日ごろのケアで実践し支援している。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は玄関の鍵は掛けず、センサーを取り付け察知できるよう見守りしている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回火災訓練を実施している。緊急時の連絡網もあり連絡先を確認している。地域住民と交流はあるが、災害時の協力体制がまだ未整備となっている。</p>		<p>地域の方にも協力を得、地域ぐるみで訓練を実施するなど、今後の取り組みに期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養管理は委託業者よりアドバイスを得ている。水分量はチェック表を活用しながら支援している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>施設内感染マニュアルを作成、日常的に手指の消毒、手洗いの励行に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は広く、それぞれが自分のお気に入りの場所で過ごせるようになっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた日用品が持ち込まれ安心して過ごせる。</p>		

 は、重点項目。